横浜市の中学校で広報官が講話

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長　平原1陸尉）は、横浜市立山内中学校、同中川西中学校において広報官が講師となり講話を行った。

講話は、学校側のキャリア教育の一環として、「子供たちが「仕事」や「働くこと」の意味や魅力、日頃見えない側面などを知る」という狙いで行われ、山内中学校は40名、中川西中学校は120名の生徒が参加した。講師の広報官は「国際緊急援助隊で陸幕連絡班庶務陸曹として参加した体験談」を語ったが、特に「ホンジュラスでの医療隊活動」の説明では、生徒は一生懸命メモをとりながら聞いていた。また、自衛官になってよかったことや、やりがいなどについてユーモアを交えながら話すと、生徒から「入隊して大変だったことは何ですか」、「辞めたいと思ったことはないですか」などの質問が飛び交った。最後に、生徒の代表者から「今まで自衛隊のことはあまりわからなかったけど、今日の講話を聴いてよく理解できました、有難うございました」というお礼の言葉で講演が終了した。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も、学校における講話に積極的に協力し、青少年層に対し防衛省・自衛隊を理解してもらい、募集成果に繋いでいきたい」としている。

山内中学で講話
した曽我１曹

中川西中学で講話
した長谷川２曹

募集相談員と連携し、志願者を支援

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹﨑1陸尉）自衛官募集相談員の紹介による志願者が、陸上自衛隊高等工科学校（武山駐屯地）で行われた生徒制度説明会に参加した。

説明会には募集相談員も同行し、同校の魅力をPRするとともに、志願者のサポートを行った。志願者は、充実した施設や処遇に高い意欲見せ、募集相談員の「頑張ろうな」の励ましの声に、決意を新たにしていた。後日、受験手続を終え、現在は試験勉強に励んでいるという。

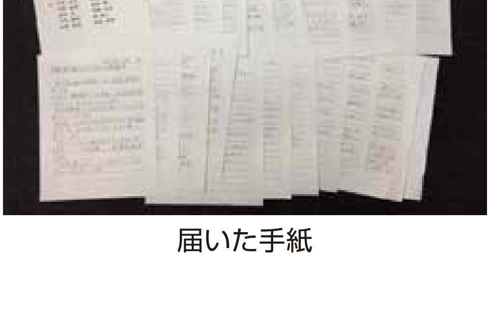
横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員会と連携を図りながら、自衛隊の魅力を伝え、募集成果につなげていきたい」としている。

「総合的な学習の時間」参加予定者からの手紙

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長：竹﨑1陸尉）に、「総合的な学習の時間」に参加予定の生徒から手紙が届いた。

手紙には、自己紹介や「総合的な学習の時間」の受入支援に対する感謝の言葉が述べられていた。また、「普段はどのような仕事をしているのか」、「どのようなトレーニングをしているのか」、「何を食べているのか」、「土地はどのくらいあるのか」など、学習の中で学びたいことが認められていた。

横浜中央募集案内所は、「質問事項等を支援部隊と共有し、充実した「総合的な学習の時間」となるよう努める」としている。



届いた手紙